

令和3年9月9日

秋田大学大学院国際資源学研究科長
藤井 光 (公印省略)

教員の公募について

このたび、秋田大学大学院国際資源学研究科では下記の要領で教員を公募します。
つきましては、関係者各位にお知らせいただくとともに、適任者の応募に関してよろしくお取り計らい
くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 職種および採用人数：教授・1名（常勤・任期なし）
2. 機関名：秋田大学（機関URL：<http://www.akita-u.ac.jp/>）
3. 部署名：大学院国際資源学研究科 資源開発環境学専攻
4. 機関種別：国立大学法人
5. 求人・業務内容：

資源開発環境学専攻・資源政策コースでは、国際政治経済学、地政学、ガバナンス論に関する教育・研究を担当し、学部学生・大学院生の教育に意欲的に取り組む方を募集いたします。

[研究分野] 国際政治経済学、地政学、ガバナンス論

[業務内容] (1) 国際資源学研究科資源開発環境学専攻と国際資源学部資源政策コースでの担当分野に関連する教育・研究指導

(2) 大学における各種企画・管理・運営業務、入試関連業務に協力し、各種委員会委員等の校務を分掌する

[担当科目]

(1) 学部担当：資源政策学概論、国際関係学概論、資源学実習、資源政策論、海外資源

フィールドワーク（実習先の手配および学生の引率指導を含む）、卒業課題研究とその関連科目

(2) 大学院担当：資源政治学、国際情勢分析論

（備考）上記の担当科目の内、資源学実習を除く科目は、英語により講義していただきます。

6. 応募資格

[学位] 博士あるいはPh. D. の学位を有する方

[実績・能力]

- ・専門分野における教育と研究に対して十分な能力と熱意があり、国際的ならびに社会的な教育研究活動に積極的である方
- ・国際政治経済学、地政学、ガバナンス分野で独創的かつ革新的な研究を推進するための強い意欲・情熱を持つ方
- ・英語による講義や研究指導はもちろん海外資源フィールドワークをはじめとする実習科目等の担当ができる方
- ・日本語を母語としない場合には、学内外における業務の遂行が可能な日本語能力を有する方

7. 勤務形態：常勤（任期なし）

8. 勤務地：秋田県秋田市手形学園町1-1

9. 待遇：（1）就業および勤務時間等

国立大学法人秋田大学職員就業規則に定めるところによります。

（2）給与等

教授：年俸制を適用（国立大学法人秋田大学職員給与規程による）

10. 応募方法

(1) 履歴書（別紙様式1） 写真を添付し、e-mailアドレスを現住所欄に記入すること。また、教育職歴がある場合には、担当科目を明記すること。

(2) 教育研究業績一覧（別紙様式2）

(3) 研究費取得状況（様式自由、科研費とその他に分けて作成）

(4) 主要な査読付き論文または著書を合わせて5編まで

（各著書・論文について、現物あるいはコピーのいずれかと概要を提出。概要は論文・著書ごとにA4用紙1枚に400字以内で作成すること）

(5) これまでの教育・研究および実務経験の概要（様式自由、日本語または英語）

(6) 本学部において教育・研究に携わる抱負。特に、国際資源学研究科のミッションとの関わり、資源（エネルギー資源、鉱物資源、水資源等）を対象とする教育研究の実績を踏まえた展望を明示すること（様式自由、英語でA4用紙1枚以内）。本研究科および学部の概要については以下のサイトを参照：

<https://www.akita-u.ac.jp/shigen/>

(7) 推薦者または意見を求めることのできる方2名の氏名と連絡先（様式自由）

11. 応募締切：令和3年10月25日（月曜日）17時必着

12. 選考方法：

第一次選考：書類審査

第二次選考：面接審査。英語による模擬授業も含む。

海外在住者の場合、または事情によっては国内在住の方でも、ZOOMによる面接審査を行う場合がある。面接の日程については追って該当者に連絡する。なお、面接のためにかかる旅費等は自己負担とする。

13. 応募書類提出先：

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1

秋田大学大学院国際資源学研究科 宮本律子 宛

※送付にあたっては、「国際政治経済学分野 教員応募書類在中」と朱書きし、書留郵便等の配達記録が残る方法で送付してください。提出された物はこの採用審査の目的にのみ用いられ、原則として返却しません。

14. 問い合わせ先：〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1

秋田大学大学院国際資源学研究科 宮本律子

e-mail : miyamoto☆gipc.akita-u.ac.jp

（「☆」を「アットマーク記号」に置き換えてください。件名に「教員公募」と入れてください。）

※電話・ファクスでの問い合わせには応じられません。

15. その他：

本学では、「子育てサポート企業」に認定され、次世代認定マーク「くるみん」を取得しています。男女共同参画を推進しており、女性教員の積極的な登用を行うとともに、女性教員が出産・育児等と研究活動を両立できるよう研究支援員を配置する「研究支援員制度」や、若手女性研究者で学術上優れた研究成果を挙げた研究者を表彰する「優秀女性研究者表彰制度」、若手女性教員に対する研究費支援策を実施しています。

本学の「男女共同参画の取組み」について詳しくは、

<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/danjyo/index.html>（男女共同参画の取組み）

<http://www.akita-u.ac.jp/coloconi/>（男女共同参画推進室コロコニ）をご覧ください。

以上